

# 医療従事者の負担軽減及び処遇改善に関する取組事項

当院では快適に働ける職場環境を整えることにより、職員の健康と安全を確保し、医療の質を高め、患者さまの安全と健康の確保に努めます。

## 医師と医療関係職種、医療関係職種と事務職員等における主な役割分担

項目	具体的な取り組み内容
初診時の予診の実施	問診については看護師が実施します。
静脈採血等の実施	外来は臨床検査技師、病棟は看護師が実施します。
入院の説明の実施	入院後の生活については、入院センター看護師または外来看護師が行います。案内は、ボランティアが行います。病棟の説明は、看護補助者が実施します。
検査手順の説明の実施	看護師と臨床検査技師が実施します。
服薬指導	各病棟に配置されている薬剤師が実施します。
事務作業	医師からの指示により医師事務作業補助者が実施します。
退院支援業務	看護師及び医療ソーシャルワーカー（MSW）が実施します。

## 勤務体制等に係る主な取り組み

項目	具体的な取り組み内容
連続当直（勤務）を行わない勤務体制の実施	連続当直（勤務）を行わない勤務計画を策定します。
当直翌日の業務内容に対する配慮	翌日の業務を軽減して休息の確保を図るとともに、継続して職員の確保に努めます。
交替勤務制、複数主治医制の実施	導入・拡大に向け検討するとともに、継続して職員の確保に努めます。
育児介護等要支援者への配慮	短時間勤務、妊娠・育児中の当直・夜勤免除、育児介護休業等制度の周知を行い、利用者の拡大を図ります。 院内保育や病児保育制度の充実を図り、安心して働ける職場づくりに努めます。

## その他の取り組み

項目	具体的な取り組み内容
病院情報システムの活用	電子カルテ端末や周辺機器を整備することにより、職員が作業しやすい環境を整備します。
院内ポータルシステムの活用	院内ポータルを整備、活用することにより、情報伝達が迅速かつ正確に行われる環境を整備します。
勤務時間の把握と適正な勤務管理	勤務時間管理システムの活用により、勤務時間の適正管理に努めます。
年次有給休暇の取得促進	時季指定等により、年次有給休暇を取得しやすい環境づくりに努めます。